

2025 年度「ベスト・プレゼンテーション賞」選考結果

プログラム委員会

ベスト・プレゼンテーション賞は、研究大会における口頭発表の中から、優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2025 年度は、学生・大学院生としての所属を明示した登壇発表者を対象に、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づき、プログラム委員の合議により、以下の通り授賞者を選出しました。

2025 年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者：

関根 博子君（慶應義塾大学大学院）

発表題目：英米における視覚障害者への情報サービス提供のための法制度および政策等の歴史的変遷

近年図書館において重要なテーマの一つとなりつつある視覚障害者への情報サービス提供について、英米の法制度等に関する歴史的変遷を 4 期に区分してわかりやすく適切にまとめていました。さらに、発表時間を厳守し質疑応答も的確に行なっていたことなど、プレゼンテーションの技法と態度においても優れていたものと評価されました。今後さらなる研究の発展を期待します。